

# 三水会会報

北里大学海洋生命科学部  
同窓会会報 第 78 号

令和元年9月発行

編集者 内藤 文隆

発行 三水会(北里大学  
海洋生命科学部同窓会)

事務局 〒246-0031 神奈川県  
横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1

TEL フリーダイヤル  
0120-873-135

目次／北里大学白金キャンパス風景	P.1	水産食品化学研究室同窓会報告	P.5
2019年度三水会定期総会報告	P.2	2019年度準会員報告	P.6
〃	P.3	お知らせ	P.7
2019年度北里大学同窓会研究奨励賞を受賞して	P.4	第57回北里大学同窓会公開講演会リーフレット	P.8

左、薬学部2号館  
(1階学生食堂「水産学部4期・5期・  
6期の集い」会場)



大村記念ホール  
(第57回北里大学同窓会公開講演会会場)



大村記念ホール入り口



北里研究所／  
北里大学プラチナタワー



北里柴三郎記念館



北里柴三郎記念館展示室入り口



## 「2019年度 三水会定期総会報告」

2019年5月18日(土)午後5時から北里大学白金キャンパス・プラチナタワー12階3125会議室において、2019年度三水会定期総会が開催されました。代議員総数50名に対し、出席数48名、本人出席39名、委任状提出者9名、欠席2名となりました。

冒頭、議長団の選出では議長に水産食品学科7期・美野朋隆氏を選出、続いて議事録署名人には水産食品学科18期・小野要氏、水産増殖学科19期・加藤紳氏を選出した。

その後議事に入り執行部より、2018年度事業報告及び収支決算報告が行われ、続いて監査報告が行われました。質疑応答の後、原案通り承認されました。引き続き2019年度事業計画案及び予算案の説明があり、原案通り承認されました。

総会終了後、同会議室で2019年度北里大学同窓会研究者奨励賞受賞者、水産学部・水産生物科学科2006年3月卒の小林勇喜氏の受賞講演が行なわれました。最後に、来賓としてお迎えしました菅野信弘学部長から、写真を交えた、海洋生命科学部の近

況等のお話がありました。総会の後には、来賓の緒方武比古常任理事・理事長職務代理にご来臨賜り、「レストラン白金」にて懇親会を開催し互いの交友を深めました。

### 『2018年度事業報告』

#### 1. 会報の発行

同窓生の動向、海洋生命科学部の現状および各種情報を含む会報を2018年9月と2019年3月の2回発行した。

2. 三水会ホームページの運営管理  
会員に対し本会の各種情報を提供した。  
プロバイダー契約を2020年12月まで更新した。

3. 会員の現状の把握  
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努めた。  
過去の不足データの入力作業を行った。

4. 親睦会の開催  
各地区の会員を主な対象とした親睦会を開催した。  
2018年6月に関東地区、11月に関西地区で開催した。

2019年11月開催の「水産学部4期・5期・6期の集い」準備委員会を開設した。

5. 同期会等の助成  
研究室同窓会およびクラブOB

研究会同窓会およびクラブOB

## 財 産 目 録

2019年3月31日現在

### \*一般会計 (円)

預金等			
みずほ銀行	三ツ境支店	普 1159267	203,449
山梨中央銀行	小沼支店	普 214393	4,748,659
みずほインベスターズ証券	新宿支店	MMF	606,792
現 金		35,934	
合 計		5,594,834	

### \*特別会計 (円)

#### (1) 事業積立金

みずほインベスターズ証券	新宿支店	MMF	1,000,000
--------------	------	-----	-----------

#### (2) 大学助成金

ゆうちょ銀行	〇八八 088	普 15963761	150,141
--------	---------	------------	---------

※一般会計「準会員活動助成」の対象とならない北里大学や準会員以外の団体等に対する助成を目的とする積立金

## 監 査 報 告

三水会規約に基づき、提出された収支決算書の各事項について監査を行った結果、その内容は適当なものと認めます。

2019年5月18日

監事 大野 良樹

監事 材津 裕

## 2018年度収支決算書

2019年3月31日現在

支出の部			収入の部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
1. 事業費	3,950,000	3,369,767	1. 部会助成金	4,639,000	4,639,000
(1) 会報の発行費	2,400,000	2,189,765	2. 会報郵送料補助	761,000	761,000
(2) 三水会HPの運営費	200,000	120,000	3. 前年度繰越金	5,432,549	5,432,549
(3) 会員現況把握費	50,000	74,200	4. 預金利息	3,000	62
(4) 親睦会の開催費	500,000	593,958	5. 雑収入	10,000	91,000
(5) 同期会等助成費	200,000	30,000			
(6) 懇談会費	100,000	76,784			
(7) 準会員活動助成金	200,000	50,000			
(8) 就職ガイダンスの開催費	250,000	185,060			
(9) 漁船海難遭児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営・管理費	2,370,000	1,959,010			
(1) 印刷・通信費	420,000	399,768			
(2) 会議費	700,000	430,095			
(3) 総会費	300,000	274,305			
(4) 事務局費	900,000	833,242			
(5) 慶弔費	50,000	21,600			
3. 予備費	4,525,549	0			
4. 次年度繰越金		5,594,834			
合 計	10,845,549	10,923,611	合 計	10,845,549	10,923,611

2019年度予算

支出の部		収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
1. 事業費	5,800,000	1. 部会助成金	4,690,000
(1) 会報発行費	2,450,000	2. 会報郵送料補助	778,000
(2) 三水会HPの運営費	200,000	3. 前年度繰越金	5,594,834
(3) 会員現況把握費	150,000	4. 預金利息	166
(4) 親睦会開催費	900,000	5. 雑収入	300,000
(5) 同期会等助成費	200,000	6. 講演会開催費	1,300,000
(6) 懇談会費	100,000		
(7) 準会員活動助成金	200,000		
(8) 就職ガイダンスの開催費	250,000		
(9) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000		
(10) 講演会開催費	1,300,000		
2. 運営・管理費	2,370,000		
(1) 印刷・通信費	420,000		
(2) 会議費	700,000		
(3) 総会費	300,000		
(4) 事務局費	900,000		
(5) 慶弔費	50,000		
3. 予備費	4,493,000		
合計	12,663,000	合計	12,663,000

会等、卒業生による集会費用の一部を助成した。

6. 懇談会の開催  
大学教職員および在学生等との懇談会を開催した。

7. 準会員活動助成  
クラブの活動経費、準会員活動経費の一部を助成した。

8. 就職ガイダンスの開催  
各分野の卒業生を講師に招いた就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に、相模原キャンパスMB号館にて開催した。前年度に引き続き、ガイダンス終了後、軽食を取りながら講師と参加学生

との交流会を開催した。

9. 漁船海難遺児育英会寄付  
漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し、寄付を行った。

『2019年度事業計画』

1. 会報の発行  
同窓生の動向、海洋生命科学部の現状、および各種情報を含む会報を2019年9月と2020年3月の二回発行する。

2. 三水会ホームページの運営管理  
会員に対し本会の各種情報を提



供する。

3. 会員の現状の把握  
全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努める。

4. 親睦会の開催  
各地区の会員を対象とした親睦会を開催する。

水産学部4期・5期・6期卒業生を対象とした集いを、白金キャンパスで開催する。

5. 同期会等の助成  
研究室同窓会やクラブOB会等、卒業生の集会費用の一部を助成する。

6. 懇談会の開催  
大学教職員および在学生等との懇談会を開催し意見交換を行う。

7. 準会員活動助成  
クラブの活動経費、準会員活動



経費の一部を助成する。

8. 就職ガイダンスの開催  
各分野の卒業生を講師に迎え、就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に行う。

終了後、各講師と学生との交流会を開催する。

9. 漁船海難遺児育英会寄付  
漁船海難等により親を亡くした子弟に、学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し、寄付を行う。

10. 講演会の開催  
第57回北里大学同窓会講演会を、2019年11月9日(土)白金キャンパスにて三水会の担当で開催する。

北里大学同窓会研究奨励賞を受賞して  
 広島大学大学院統合生命科学研究所  
 小林 勇喜

この度、「1次繊毛に着目したメラニン凝集ホルモン(MCH)の機能解析」というタイトルで北里大学同窓会研究奨励賞を受賞させて頂きました。研究成果をご評価して下さった選考委員会の先生方および同窓会関係者の皆様にご心より御礼申し上げます。北里大学時代を思い出しながら、自身の研究生活を振り返ってみたいと思います。少しお付き合い頂きますと幸いです。自分は、幼い頃から「生き物」が大好きであり、小学校で「生物学」に出会ってからは、いつかこの学問で研究をしたいと強く思うようになりました。そんな中、高校生の頃にMCHの発見者である川内浩司先生の論文と出会い、内分泌に心奪われ、川内先生がいらっしゃった北里大学水産学部(現・海洋生命科学部)に入学しました。4年時から川内先生のラボに所属し、当時、准教授であられた森山俊介先生のもと、無脊椎動物の「下垂体」ホルモン探索の研究を行いました。修士からは、川内先生のご定年に伴い、教授に昇進された高橋明義先生のもと、黒色素細胞刺激ホルモン(MSH)とMCHの研究を開始しました。



授賞式の様子

MSHとMCHは、名前が示す通り、前者は色素細胞内の色素顆粒を拡散し暗化方向に、後者は凝集させ明化方向に体色を調節するホルモンとして同定されました。体色調節能を進化の過程で失っている哺乳類においても継承されており、摂食においてそれら抑制と亢進作用を持ちます。哺乳類における成果が魚類に逆輸入され、魚類においても両分子が摂食に関与することが

明らかになってきました。

博士課程までは、カレイおよびキンギョを中心に、基本的に5種類あるMSH受容体(MCR)の個々の生理機能解明や種間変異が激しいMSH前駆体遺伝子(POMC)の研究を通して、高橋先生と高橋研の講師(当時)であられた水澤寛太先生から研究と教育のいろはを教えて頂きました。中でも、「硬骨魚類体色調節能とMCRサブタイプ間における複合型受容体(ヘテロダイマー)の関連」の研究が最も心に強く残っています。

これは、MSHがカレイの黒色素細胞と黄色素細胞に拡散効果を示すの対し、アセチル化されたMSHは、黒色素細胞に効果を示さなくなるといふ現象を見出した事がきっかけとなっています。当初はシンプルに受容体の発現パターンに依存するのだろうと思っていたのですが、研究を進めると、受容体の発現と色素拡散能に矛盾が生じ、足踏みをする日が続きました。その間は、高橋先生にアイデアを持って行つては却下されていましたが、雑談中に駄目じゃ〜相談した案に「それ、いけるんじゃない?」と仰って頂いた時には、目の前が開けるように感じたことを鮮明に覚えています。その案が、異なるMCRサブタイプが複合型受容体を形成し、リガンド親和性に影響するというヘテロダイマー仮説です。本研究を通して、研究の厳しさに加えて打破した時の何事にも代え難い達成感を経験することが出来ました。高橋先生からの「将来は誰も助けてくれないのだから自分で何とかしろ」という叱咤激励のお言葉は、自身を甘えから覚まして頂くと共に、研究者の卵であった自身の殻を破る手助けとなりました。

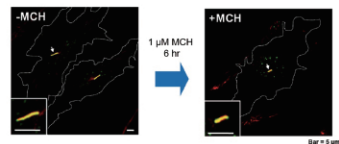
博士号取得後は、ヘテロダイマー仮説について培養細胞を用いて実証すべく、広島大学総合科学研究科の斎藤祐見子先生を頼りました。斎藤先生は、MCH受容体1(MCHR1)の発見者であり、学生時代に共著の論文を出させて頂いた

縁も有り、快く学振PDとして受け入れてくださいました。また、博士を取得した年は、東日本大震災の年であり、震災によりペット一式しか持ち出せなかった現状の中、斎藤先生を含む多くの近隣ラボの先生方に親切にして頂きました。ポストドク時代は、両生類におけるMCHRの機能解析と学生時代から進めてきたヘテロダイマー仮説を証明する事が出来ました。ポストドク終了後は、周りの方にも恵まれ、総合科学研究科(現・統合生命科学研究所・総合科学部)の特任助教として採用して頂き、その半年後に同研究科助教として着任し現在に至ります。

近年は、受賞タイトルでもある1次繊毛におけるMCHR1の機能解明を中心に行っています。1次繊毛は、血球以外のほとんどの細胞が一本のみ有する不動の細胞小器官です。1次繊毛の形成異常は、肥満や知能発育不全など様々な疾患に結びつくことから、繊毛膜に発現する受容体を介して微小環境を検知するセレンサーとして働くと考えられています。しかし、その作用機序は謎が多いのが現状でした。1次繊毛の根元には基底小体と呼ばれるバリアが存在するため、特定のタンパク質のみが選別輸送されます。GPCRは約800種類存在しますが、そのうち5種類が1次繊毛への局在が確認されています。その一つがMCHR1です。そこで、1次繊毛が退化していないヒト網膜色素上皮細胞(RPE1細胞)にラットMCHR1を一過性発現させ、MCHで刺激したところ、MCHR1陽性1次繊毛が短くなる「縮退現象」を見出しました。さらに、MCHR1が安定高発現したRPE1細胞を作製し、各種阻害剤を用いた研究から、縮退現象がGタンパク質であるGi/oを起点とすること、縮退のゴル付近では、微小管の脱重合およびアクチンの重合が重要なことを明らかにしています。現在は、RPE1細胞におけるMCHR1を介した縮退に関わる細胞内シグナ

ルおよび仲介するタンパク質をほぼ絞り込み、vivoでも生じるかも視野に入れて研究を進めております。実際、マウスの脳におけるMCHR1陽性1次繊毛の検出を絡めて、MCHR1のネガティブレギュレーターであるRGS8に関する報告をすることが出来ました。また、ヒトiPS細胞においても内在性のMCHR1を介して、MCHによる縮退現象が生じることも報告しています。

上述のように自身の研究生活を振り返りますと、多くの方々との出会いがあり、助けて頂いたからこそ、今の自分があつたのだと再認識致します。研究に関しても、共同研究者の先生方、ラボのスタッフや先輩の方々と行うことで成し遂げられた事です。この場を借りて、お世話になりました全ての皆様にご心より御礼申し上げます。現在は、哺乳類の1次繊毛ということで、水産系から少し離れたことを研究しておりますが、その背景には北里大学水産学部で学び培われた三陸魂があることは言うまでもありません。自分が学んだ三陸からキャンパスが移り、被災時に避難所としてお世話になった三陸研究所も閉館となる事をお伺いました。場所や施設が変わつても、相模原で、より充実した水産系の学部として大きく羽ばたかれる事を信じております。自身もまだまだ道半ばではありますが、湧昇流にのり、大きく成長出来るように邁進する所存です。今回の受賞の喜びと感謝の気持ちを常に忘れず、若輩者ではありますが、今後も研究と同窓会発展のために微力ながら尽力しております。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



RPE1細胞における1次繊毛の検出

## 食品化学研究室近況および 2019年度同窓会開催報告

食品化学研究室・准教授  
池田 大介

先の震災により、三陸キャンパスから相模原キャンパスに移動して8年余が経過しました。三陸時代には研究室同窓会を頻りに開催していたのですが、相模原に移動してからは私の不徳の致すところにより、同窓会を全く開催していませんでした。そこで、令和元年は菅野先生がめでたく還暦を迎えるということもあり、大々的に同窓会を開催しようということになりました。本小文では、食品化学研究室の簡単な近況(?)と、同窓会/菅野先生還暦祝いの開催報告を記したいと思います。

### 食品化学研究室近況、のようなもの

食品化学研究室(旧水産食品化学研究室)は、菅野信弘先生、横山雄彦先生および池田の3名体制で運営しており、三陸キャンパス時代と変わりありません。御存知のとおり、菅野先生は平成26年より海洋生命科学部学部長という立場にいらつしやるため、大学内外での会議等で部屋を空けていることが少なくありません、お忙しそうです。そのようなお忙しい身でありながら、昼食はご自分で作ってお弁当を持参しておられるようです、弁当男子です。私はというと、サンマの刺し身や注文してから作り出してくれる豚キムチ丼、カツ丼等の魅力的なメニューが、残念ながら相模原キャンパスの学生食堂には存在しないため、最近はおっぱら自炊(お湯を沸かしてカップラーメンの容器に注ぐ行為)をしております。おそらく横山先生もそんな感じだと思えます、詳しくはお問い合わせください。

閉休休題、毎年、研究室には20名程度の4年生が配属され、興味がある卒業論文のテーマに沿って担当教員が決まります。現在、応用生物化学講座の卒論発表

表会は合同で行っているため、4年生および次年度配属される3年生を含めると150名程度の聴衆の前で発表しなければならず、大変スリリングな発表会です。ひどい発表をすると学生のみならず、指導教員まで白い目で見られそうなので、必ずと卒論発表に向けて万全の準備をする必要があります。大変ですがひーひー言いながら学生共々毎年頑張っております。

私が今現在扱っている研究テーマは、小型魚類、メダカやゼブラフィッシュを用いた筋萎縮に関する研究、シーラカンスゲノムデータベースを用いた研究、魚類培養細胞の筋細胞および脂肪細胞への分化に関する研究等々を行っております。このほか、三陸に関連する研究として、エゾイソアイナメ(皆さんご存知のドンコ)を原料とした練り製品に関する研究を、海洋ゲノム科学研究部の渡部終五先生と共同で行っております。もちろん、菅野先生および横山先生はオピンやD-アミノ酸に関連する研究をはじめ、活発な研究活動を継続しております。詳しい研究内容については、私が記載すると間違った情報を発信してしまう恐れがありますので、ここでは割愛させていただきます、詳しくはお問い合わせください。

### 食品化学研究室同窓会/菅野先生還暦を祝う会開催報告

去る令和元年6月8日、新横浜プリンスホテルにて食品化学研究室同窓会/菅野先生還暦を祝う会が開催されました。同会の開催にあたっては、これまでのように卒業生全員に郵便で開催通知を送り、出欠を取るという便をしませんでした。三水会会報および三水会webサイトに同窓会開催のお知らせを掲載させていただき、Googleフォームというwebサイトを通じて参加登録を行いました。同窓会参加の呼びかけを目的として、卒業生名簿に記載されているメールアドレスに開催のお知らせを送付しましたが、半分以上は宛先不明で帰ってき

ました。さらに、食品化学研究室同窓会LINEアカウントも開設しましたが、参加呼びかけに最も効果的だったのは卒業生同士の連絡、口コミだったようです。卒業生皆様のご協力のおかげで、一期生を筆頭に参加人数は総勢約80名となりました。また、歴任教員の佐藤實先生および長久英三先生に加え、前学部長の緒方武比古先生ご夫妻にもご参加いただきました。誠にありがとうございます。残念ながら佐藤美和先生はご参加いただけませんでした。が、広島でご健在とお伺いしました。

同窓会は菅野先生の開催あいさつに始まり、長久先生、佐藤先生のご近況をお話しいただきました。長久先生は首都大学東京で、佐藤先生は東北大学で現在も研究を継続なさっているそうです。残念ながらご参加が叶わなかった卒業生の方から日本酒の差し入れもあり、大変豪華な会となりました、名幹事のおかげだと思えます(私のことです)。同窓会はつつがなく進行し、経過時間に比例して必然的にエタノール摂取量も上昇し、参加者同士の交流が活性化いたしました。三陸時代の懐かしい話や、卒業生の近況、さらにはここでは書けないような、「えー、そうだったの!？」というような様々な話を聞くことができました、詳しくはお問い合わせください。

宴もたけなわ、菅野先生還暦祝いのメインイベントとして、アマゾンでポチッとした赤いちゃんちゃんこに袖を通



していただきました。すぐに脱がれるのかな、と思ったのですが、ご本人はまんざらでもなさそうで、しばらく赤いちゃんちゃんこ姿のまま写真撮影にに応じておりました、詳しくは写真をご覧ください。また、お祝いの品として、卒業生が持つてきてくれた花束に加え、弁当男子の菅野先生には必需品である弁当箱(猫柄)および高級魚沼産コシヒカリを贈呈させていただきました。このあたりで、アルコール摂取量が限界を超えた名幹事は迷幹事に变性したため、会の進行は横山先生に引き継がれました。横山先生すみません。

いよいよ薄れゆく意識の中、今後、オリンピックより短い周期で同窓会(KUランフォート会)を開催します。菅野先生が宣言されたような気がしますが、すなわち、3年以内にもまた同窓会を開催し、ろと厳命されたわけです。これを守らなると研究室内における私の立場が無くなってしまう。食品化学研究室LINEアカウントは今後も継続していきます。次回の同窓会のお知らせのみならず、食品化学研究室近況も順次お伝えする予定です。まだ登録されていない方は是非是非ご登録し、次回以降の同窓会にご参加ください。

もしくは、有効なメールアドレスを私まで送ってください、同窓会のお知らせを配信いたします。<adikeda@kitasato-u.ac.jp>



最後になりますが、三水会からはこのような文章を書く機会を与えていただくとともに、同窓会開催に際しては補助をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

追記(8月9日)

どんこの揚げかまぼこが商品化され、8月11日から道の駅さんりくで限定50箱試験販売されることになりました。

## 令和元年度 三水会準会員活動クラブ助成を受賞して

海洋生命科学部北里会  
体育会潜水部主将 3年

増井 亮介

この度は、三水会準会員活動クラブ助成金を交付していただきまして、誠にありがとうございます。海洋生命科学部北里会潜水部の活動を評価していただきましたこと、大変光栄に思っております。部員一同を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

私たち潜水部は第48期となる新入生42名を迎え入れ、総勢93名で活動しております。震災後、相模原キャンパスへと学部が移転したことにより現在は伊豆の海を中心に活動を行っています。部活動では「セーフティダイブ」を念頭に置き、楽しいだけのダイビングでは終わらせずに、日々ダイビング技術の向上や、実際に観察した生物の知見を深めるなど、部員一人ひとりが自立したダイバーになれるよう努めながらダイビングを行っています。セーフティダイビングに努めていく中で、部活動としてダ

イビング器材の点検や修理などは非常に重要な要素であります。今回交付していただきました助成金はそのような面で活用させていただきたく思っております。

また、震災から8年という月日が流れ、一年に一度、故郷でもある三陸へ戻り普段とは違った生態系を楽しんでいます。しかしながら、平成が終わり新元号を迎えた現在でも海洋生態系に及ぼされた震災の影響はまだ残っており、海洋環境や生態系保全の必要性について自分たちの目と肌で感じております。

さらに、ダイビングのみならず関東学生潜水連盟のフリッパー大会への参加や、海岸での清掃活動、小学校でのプール講習など外部の活動にも積極的に参加しております。昨年度のフリッパー大会では総合で2位を受賞し、結果を残すことができました。今後とも部活動として携わることがあれば積極的に参加していきたいと思っております。

ここまでの活動を続けられているのは、三水会の皆様をはじめ、顧問の朝日田先生、潜水部OB・OGの皆様、海洋生命科学部の事務の皆様

様、そして伊豆のダイビングショップの皆様などたくさんの方々のご支援ご厚情があったからこそだと感じております。改めまして、心から御礼申し上げます。最後に、キャンパスから海が遠いこともありダイビングの機会が限られてしまうこと、設立当時の意思や伝統を引き継ぎながらも時代に合わせた部活動の柔軟な運営が求められているなど、解決すべき課題があります。それらも踏まえ、令和を迎えたこの時代の節目に、部活動としてもさらに成長していく所存ですので、今後とも皆様のご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



## 三水会太鼓有志の会

有志の会共同代表

F F 14 大坪 孝志

F M 32 山本 浩司

この度は北里会体育会ラグビー部より、とても嬉しいお知らせをいただきました。

この太鼓は北里大学水産学部6期生(1980年3月卒)より寄贈されたものです。

三陸時代には体育祭の応援に始まり、漁火祭の大漁踊りなど様々な場面で、長年愛用され活躍した太鼓です。

2011年3月に発生した東日本大震災により、相模原キャンパスへの学部移転とともに三陸よりやってきました。しかし制作より40年にもなる年月で本来の音色にはほど遠く、昨年の有志の会で寄付を募り、皮を張り替えさせていただきました。張り替えた後、私

たちも早速太鼓打ち鳴らし、遙か学生時代に想いを馳せた次第です。これからも皆様のご活躍、心よりお祈りします。

毎年ラグビー部では部活紹介で舞台上上がりラグビーの雄々しさを披露しています。その雄々しさを披露するのに毎年太鼓を使わせて頂いております。今年は大鼓の皮が張り替えられていたのでとても良い音が鳴り、結果新入生が20人以上入部してくれました。

部員が増えたのも太鼓のおかげだと思います。修理して頂きありがとうございます。これからも毎年使わせていただきます。



## ■ 「水産学部4期・5期・6期の集い」開催のご案内

昭和54年・55年・56年の3月卒業の皆様、下記のとおり「水産学部4期・5期・6期の集い」を開催します。当日は第57回北里大学講演会に椎名誠さんをお招きしての講演があります（P8参考）。また、北里柴三郎記念館も特別に臨時開館します。4期・5期・6期の集いには学部長はじめ退職しました先生方もお見えになります。同期の方々お誘い合わせの上、ご参加ください。各期代表 4期：石井美華（平井） 5期：材津裕 6期：岡村博登

記

開催日時：2019年11月9日（土）16：00～19：00（受付15：30）

開催場所：北里大学白金キャンパス薬学部2号館1階学生食堂（銀座スエヒロ）

会 費：一人5,000円（当日受付にて徴収）

申込方法：三水会ホームページあるいはQRコードから10月20日（日）までにお申し込みください。詳細につきましては下記三水会事務局まで問い合わせ願います。

<http://kitasato-sansuikai.jp/>

〒246-0031神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1

北里大学海洋生命科学部同窓会（三水会）事務局

TEL・FAX：0120-873-135



## ■ 北里大学同窓会北海道支部総会と三水会北海道地区親睦会を開催案内

3FA 水鳥 純雄

今年はこれまでに多くの地域において、環境変動による豪雨などで甚大な災害が発生しました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

① 令和元年10月5日午後4時から札幌市内のネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北二条西2-9）において北里大学同窓会北海道支部総会と講演会および懇親会を開催します。今回の講演会は、所ジョージさんがMCを務めるテレビ番組「所さんの目がテン」の長期実験企画「かがくの里」で「ウナギの稲田（とうでん）養殖」実験を行い画期的な成果を上げた、海洋生命科学部の千葉洋明准教授をお招きして貴重なご講演を頂くことになっております。また懇親会では、毎回大盛況となっている北海道各地の豪華な農・水産品を景品にしたビンゴゲーム大会も行います。北海道内はもとよりそれ以外の地域にお住まいの同窓会員の皆様も是非ご参加くださるようお願い申し上げます。

詳細・お申込みは、北里大学同窓会北海道支部

<http://www8.plala.or.jp/kitasato-hokkaid/>

② 令和2年2月15日に支部総会と同じネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北二条西2-9）において、三水会北海道地区親睦会を開催します。今回は、北海道北見市瑠辺薬町温根湯温泉にある、淡水魚の展示で「日本一と世界初」を誇る「山の水族館（北の大地の水族館）」の館長であり、2012年3月海洋生命科学部海洋生命学科卒業生の山内 創さんをお招きして、同水族館の特徴やリニューアルのご苦労などについてお話頂くことになっております。懇親会では多くの方々の近況報告などで各方面でのご活躍を互いに励ましあいたいと思います。北海道内の会員の皆様には後日ハガキでご案内いたしますので、多くの方のご参加をお待ちします

### 編集後記

2019年の夏も長雨、日照不足から始まり、九州から西日本にかけて多くの被害を出したようです。被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。その後は猛暑となり、気候変動の一端を今年も見せつけているようです。体調には充分気を付けましょう。ところで今年度は全学同窓会講演会を三水会が担当いたします。会報の最終ページにも案内がありますので、奮ってご参加ください。なお、同日講演会の後に4期5期6期生を対象とした懇親会が開催されます。対象となる方々はぜひご参加いただき旧交を温めていただきたいと思います。



# 第57回 北里大学同窓会 公開講演会のお知らせ

講演者 ■ 椎名 誠(しいなまこと)氏  
 演 題 ■ 辺境の食卓  
 開催日時 ■ 令和元年11月9日(土) 14:00~(受付13:30)  
 開催場所 ■ 北里大学白金キャンパス  
 大村記念ホール

特・典・

三水会  
オリジナル  
手ぬぐい  
プレゼント

もれなく

参加費  
無料

◎展示室利用案内  
 北里柴三郎記念室／北里大学白金キャンパス内  
 開 館 ■ 10:00~17:00(特別に臨時開館あり)  
 入館料 ■ 無料

## 椎名 誠氏 プロフィール

1944年東京都生まれ。作家。1979年より、小説、エッセイ、ルポなどの作家活動に入りました。  
 これまでの主な作品は、『犬の系譜』(講談社)、『岳物語』(集英社)、『アド・バード』(集英社)、『中国の鳥人』(新潮社)、『黄金時代』(文藝春秋)など。近著は、『北の空と雲と』(PHP研究所)、『犬から聞いた話をしよう』(新潮社)、『あるいて行くとぶつかるんだ』(角川書店)。  
 最新刊は、『おっちゃん山』(新日本出版社)、『おながすいたハラペコだ② おかわりもういっぱい』(新日本出版社)、『旅先のオバケ』(集英社)、『本の夢 本のちから』(新日本出版社)。  
 旅の本も数多く、モンゴルやパタゴニア、シベリアなどへの探検、冒険ものなどを書いています。  
 趣味は焚き火キャンプ、どこか遠くへ行くこと。(2018年11月現在)



## 申込方法

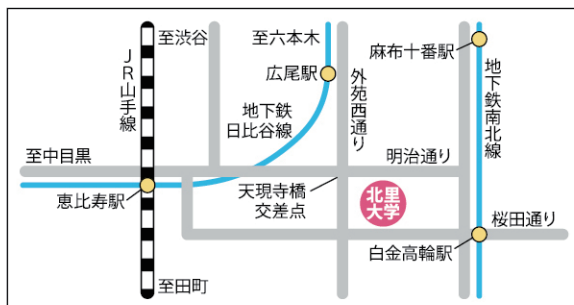
三水会ホームページ  
 あるいはQRコードから  
 お申し込みください



北里大学 三水会

検索

【令和元年10月25日(金)まで】  
 定員になり次第締め切らせていただきます



渋谷駅(JR・京王線・東急各線・東京メトロ各線)  
 ■東口下車→都バス「田87」系統 田町駅行15分→北里研究所前下車

広尾駅(東京メトロ日比谷線)  
 ■天現寺橋方面(出口1・2番)下車→徒歩10分

恵比寿駅(JR・東京メトロ日比谷線)  
 ■東口下車→徒歩15分 or 都バス「田87」系統 田町駅行7分→北里研究所前下車

田町駅(JR) 三田駅(都営地下鉄浅草線・三田線)  
 ■三田口下車→都バス「田87」系統 渋谷駅行15分→北里研究所前下車

白金高輪駅(東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線)  
 ■恵比寿方面(出口3番)下車→徒歩10分